一般財団法人
日本建築総合試験所

一般的な調査業務におけるご依頼から報告までのフロー

構造部 耐震耐久性調査室が実施しています一般的な調査・診断業務について、事前の打合せから調査結果の報告までの流れ（フロー）を以下に示します。

① 事前打合せ

調査計画を立案するための打合せとなります。
調査実施の動機や目的、対象構造物の概要などを聴取させていただきます。

↓

② 下見調査

現地にて実際の構造物を確認させていただきます。
調査の目的に沿った適切な調査項目を検討するために下見調査を実施します。マンション等の場合、住民の方々との打合せを行う場合もあります

↓

③ 調査計画書・見積書の提示

上記の打合せおよび下見等から得られた情報をもとに
調査計画の立案、見積書の作成を行います。
調査の計画・見積書は下見等の実施から、**約 1～1.5 週間後**に提出します。

↓

④ 業務契約

当法人から送付します依頼書をご提出いただき、
調査実施に関する契約を行います。
契約が完了した後、調査日程等の協議を行います。
現地調査日程は、契約時点での当法人のスケジュールによりますが、ご希望があればご相談下さい。

↓

⑤ 現地調査

調査計画書に基づき、現地調査を行います。
現地調査は原則として、平日に実施することとなります。

↓

⑥ 調査結果（報告書）の提出

現地調査または室内試験が終了してから、
約 1.5 ヶ月後（基本）に調査結果報告書を提出します。
なお、報告書に関する口頭での説明等が必要な場合は、
ご相談下さい。